

3、 タコの突き方・獲り方

タコは、砂地にもいますがここではリーフで突く方法を紹介します。タコのいるポイントは、主にアウトリーフの切れ目付近になります。深くなる手前のほうですね。

そしてタコが入っている穴の事を一般的にタコ穴と言われていますが、タコ穴の付近には食べて後の貝殻や砂が散乱していて穴の入口に散らばっている事が良くあります。タコ穴はタコの

居心地が最も良いとされている場所で、獲った後も数日経てばまた別のタコが入っている可能性があります。ですから、島の海人にもタコ取り名人と呼ばれる方がいますが、その方はタコのお家をたくさん知っているという事になりますね。

タコが穴に入っているのを見つけたら、タコの目と目の間から突きさして頭から貫通するようにモリを突きましょ。もしくは、タコが口(黒い部分)を向けて頭を後ろ側にしていて見えない場合は、口の真中から、後ろにあるであろう頭に向かって突きさします。突きさして後は、モリをしばらく押しっぱなしにする“押しえ”を行います。そうしないと吸盤の付いた足で刺さったモリを外して穴の奥へ逃げて行ってしまいます。出来れば出てくるまでの間ずっと押しえた方が良いでしょう。

押しえた状態で、2センチ～5センチ程度、小刻みに、“コンコンコン”と出し入れして動かしたりします。そうすると、足から順にモリが刺さった状態のまま外へ出て来ます。足が出てきて、頭が出たら一気にモリを引き(返しの付いているタイプのモリに限る)、岩にくっついた状態のタコを岩から完全に引き離して下さい。

タコのサイズが大きくて、岩に吸いつく力が強く、モリを引き離す際にモリだけが抜けてしまいそうな場合や、刺さりが甘い場合は、モリを引き離しながら、もう片方の空いている手で直接タコの頭を掴んで岩から引き離して下さい。岩から引き離す事が出来たら、持っているナイフで目と目の間を突きさし、2センチぐらい足の方に向けて切り込みを入れます。そうすると一気に弱って来ますので、その状態になってからアミ又はいゆぬちゃー(フィッシュストリンガー)に通しましょう。そうしないと、吸盤のついた足で、器用に外して逃げる可能性があります。又、ナイフを持っていない場合は、頭をひっくり返すと言う方法もあります。一般的にはそっちの方が知られていますが、暴れるタコの頭を泳ぎながらひっくり返すのはなかなか大変ですので、一回急所(目と目の間)をナイフで突き刺した方が良いでしょう。

因みに、モリの先端は鉄の素材であった方が、穴の中にいるタコは出て来やすくなるようです。

因みに、因みに、沖縄県では、平成25年9月に漁業権の切り替えが行われ、しがやーダコ(シマダコ)・島ダコ(ワモンダコ)・サメハダテナガダコの3種類が漁業権の対象になりました。ですから、一般の方が上記3種類のタコを獲る事は認められていませんのでご注意ください。貝殻を利用して釣るうむずなー、イイダコ(ウデナガカクレダコ)は漁業権の対象ではありません。

ルールを守って健全に行いましょう！



